

## 施策評価調書(元年度実績)

				施策コード	Ⅲ-2-(3)	
政策体系	施策名	文化財・伝統文化の保存・活用・継承	所管部局名	教育庁		
	政策名	芸術文化による創造県おおいの推進	関係部局名	教育庁		
				長期総合計画頁	141	

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	文化財・伝統文化の保存	文化財・伝統文化の活用	文化財・伝統文化の継承

### 【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する 取組No.	基準値		元年度			6年度	目標達成度(%)											
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125							
i	文化財の保存・活用に関する市町村の地域計画の策定数(件)	①②	H30	0	-	-	-	18												
ii	県立歴史博物館・県立先哲史料館・県立埋蔵文化財センターの利用者数(万人)	③	H26	10.1	12.5	13.7	109.6%	14.3												

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	-	R2年度に「大分県文化財保存活用大綱」を策定し、県の大綱策定後のR3年度からR6年度ですべての市町村が地域計画を策定するよう取り組みを進めることとしているため、R1年度は評価を行わない。	達成
ii	達成	ラグビーワールドカップ開催期間中に行った大分のキリンタン関連の企画展などにより、県内外から多くの利用者が訪れ、目標を達成することができた。	

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財としての指定、未指定を問わない文化財フォトコンテストを開催し、身近な文化財への関心を高める機会を創出した。</li> <li>・県内の遺跡の発掘調査(宮ノ下遺跡、恒道原田遺跡ほか)を行い、記録保存に向けて遺物の収集や測量などを行った。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産「鬼が仏になった里『くにさき』」を巡る周遊ツアーを開催し、国外・県外の方々に大分県の歴史・文化の魅力を発信した。</li> <li>・マレガ・プロジェクトと連携した国際シンポジウムを開催し、豊後キリシタンの歴史を広く発信した。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新VR技術を活用して県内の遺跡を紹介する動画を作成し、県内の歴史をより深く学べる機会を創出した。</li> <li>・県内遺跡情報のデータベース化により、貴重な資料を適切に管理し、確実に次世代に継承するための基盤を整備した。</li> </ul>

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①②	文化財保存活用推進事業	100.0	302
③	おおいたの歴史・文化魅力発信事業	92.9	302
	楽しく学べる博物館づくり推進事業	120.2	302

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

OR1年度第2回大分県文化財保護審議会(R1.12)

・これからの文化財は、人々が触れる、そして人々がわかる、そうすることで人々が生かすことが活用の重要なポイントとなる。大分県でも、人々が文化財に触れる取り組みや理解してもらう取り組みを展開することで、人々が地域の文化財を積極的に活用できるような事業を今後も継続してほしい。

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財や伝統文化の計画的な保存・活用・継承のため、改正文化財保護法に基づく大分県文化財保存活用大綱を策定する。</li> <li>・文化財を活用した地域活性化や地域住民の文化財への理解を促進するため、日本遺産周遊ツアーや文化財フォトコンテストを開催する。</li> <li>・地域の人々の精神的拠り所でもある伝統芸能への理解を促進するため、国の補助制度を活用して、九州の伝統芸能を発表・鑑賞する機会を設ける。</li> <li>・県内の歴史・文化をより深く学べる機会を提供するため、最新の映像技術を活用した展示の整備を行う。</li> </ul>